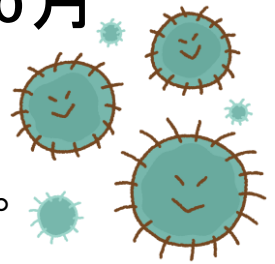


衛生委員会だより 2025年6月

～真菌症とは？～



カビが引き起こす病気を総じて「真菌症」と呼びます。

■白癬菌(水虫・タムシ)のような皮膚表面に現れる症状の「**表在性真菌症**」と言われるものから、人体の深部に症状が現れ場合によっては重症化し、死にいたるケースも存在する「**深在性真菌症**」と大きく2つに区別することができます。

【深在性真菌症】

人は空気中に無数に飛んでいる真菌を常時吸い込み、体内に取り込んでいますが、健常な人体には抵抗力が備わっているため、発症を免れたり、重症化せずに済んでいます。

しかし、闘病中のような過労時に細胞免疫力が低下すると真菌は猛威を振るうため「**※日和見感染症**」と称されています。

※日和見感染症:健康な宿主に対しては病原性を発揮しない病原体が、宿主の抵抗力が弱まっているときに病原性を発揮しておこる感染症のこと

【表在性真菌症】

真菌症は人から人へ感染(飛沫感染)しないことや、細菌のように爆発的に繁殖する特性を持ち合わせていません。そのため、経日的にゆっくりと症状が悪化していくことがあり、「気づいたときには症状が進行していることもある」という厄介な特徴を持っています。

表在性真菌症では肌荒れなどが見受けられ、市販の薬ではなかなか治り切らず、長引いてしまうケースも見受けられるようです。

症状が改善されない場合は、医師の診断を受け正しく治療することが必要になります。